

回不敵の名花

帝キネ小坂映畫

脚色者 松本 谷水氏
監督者 山下 秀一氏
撮影者 吉田 俊作氏

主要役割

大島圭介 尾上 紋十郎氏
福次松 小島 陽三氏
三花 林 誠太郎氏
お千代 末廣 麗子嬢
角藏 千草 香子嬢
加藤宮内 尾上 紋彌氏
加藤宮内 尾上 左紋治氏
解説——「正義の雄叫」について山下秀一氏が監督製作した時代劇である。



「不敵の名花」

帝キネ小坂山下氏作品

略筋——頃ば慶應三年、秋深き一日利根川畔を下り行く一群があつた。それは芝で名うての手柄お千代と其一行である。江戸の土地を賣つた彼等は途中一と仕事せんとして失敗し再び土藏破りの角藏と落首ひ、大島圭介の軍用金を奪はんとしたが、觀破され既に一命を斷たれ様としたのを圭介の情によつて助命された。その恩義に感じたお千代は驕然悔悟し圭介のために一命を賭して働く様になつた。そして遂に日光街道に於ける官幕大接戦にあたら盛りの花を散らしたのである。しかし彼女は最後に臨んで圭介が彼女のために作られた都々逸の一齣を聞き乍ら安らかに瞑目した。彼女の最後は壯烈にして然も悲壯なものがあつた。